



前橋 Maebashi

ハレルヤブックセンター

たより

発行▶前橋ハレルヤブックセンター支援委員会

住所▶〒371-0016 群馬県前橋市城東町2丁目5-3

電話▶027-212-8505 FAX▶027-212-8508

E-mail▶hallelujah2019@gmail.com ホームページ▶<https://maebashi-hallelujah.com/>

vol.13

2025年2月



私たちが聞いたもの、自分の目で見たもの、 じっと見つめ、自分の手でさわったもの

『如是我聞』（によぜがもん：私はこのように聞きました）。これは、ほとんどの仏教經典の冒頭の言葉で、人間の立場、聞く側の能力から始まっています。仏教教典は、五百年に渡って口伝だけで教えを伝達し、紀元前1世紀頃に文字に書き写されました。

一方、聖書は、『主は言われた』と語られた言葉がそのまま書かれています。聖書の成立時期については、旧約聖書は紀元前ですがイエス様も引用していて、新約聖書はイエス様の十字架刑から数十年で書かれています。

使徒ヨハネは、イエス様といつも行動を共にし、最後の晚餐の時にはイエス様の胸元にいて寄りかかり、十字架の時にはイエス様の母マリアを託されるほど特別な弟子でした。その使徒ヨハネが人生の晩年に「初めからあったもの、私たちが聞いた

たもの、自分の目で見たもの、じっと見つめ、自分の手でさわったもの、すなわち、いのちのことばについて。このいのちが現れました。御父とともにあり、私たちに現れたこの永遠のいのちを、私



たちは見たので証して、あなたがたに伝えます。」(ヨハネの手紙第一1章1～2節)と自らの体験からイエス様が神の御子であり命である事を証しています。また、手紙を書いた目的は、神との交わりを持ち、私たちの喜びが満

ち溢れ、罪を犯さないようになり、永遠のいのちを持っている事をわからせるためと語ります。

前橋ハレルヤブックセンターには、神さまと出会い、神さまと交わり、神さまからいただいた恵みの証の本などが置いてあります。是非、足を運んでみてください。

アンテオケ・ゴスペル・チャーチ

牧師 矢島 利幸

春を迎える

ジェルキャンドルづくり ワークショップ



ガラスの容器に好きな花材をいれて透明なジェルワックスを注ぎ込んで作るキャンドルです。ハーバリウム講師の「なのはなほ」さんが教えてくださいます。春にぴったりのキャンドル。プレゼントにもおすすめです。ぜひご参加ください。

◆日時：2025年4月2日（水） 13：30～15：00

◆会場：前橋ハレルヤブックセンター

◆参加費 1,200円（材料費・茶菓代含）

<定員> 5名

当店までお電話か

E-mailで

お申込みください。

特集1 「祈り」の本、集めてみました。

お祈りひつじの
しーちゃんです。



「祈り」とは、なんでしょうか。いろいろな角度から「祈り」を考え、「祈り」を味わう書籍を集めてみました。祈りそのものの時間も、祈りについて考える時間も、自分自身を知り、また祈る相手である神様を知る豊かな時間となりますように。



「三位一体の神と語らう
——祈りの作法——」(いのちのことば社)
朝岡勝著 1,760 円
「祈る」という行為はいったい何なのか。「御父・御子・聖霊」なる三位一体の神との「豊かな交わり」・「語らい」・「恵み」として、祈りにスポットを当てていきます。日々の中で実際に祈る9つの祈りも収録。



「きょうの祈り」(いのちのことば社)
F・B・マイアー著
小畑進編著 2,750 円
復刊が待ち望まれた祈りの名著を『聖書 新改訳 2017』対応にしてリニューアル。
巡る季節感じ、日常の中で霊想へと導く祈りは要を得て深く、賛美と感謝、そして神の前にへりくだる謙遜へと導きます。



「祈りのちから」(いのちのことば社)
クリス・ファブリー著
中嶋典子 訳 2,530 円
老婦人から祈ることを教えられた離婚危機の夫婦。祈り始めたことで家族に回復が訪れる…映画「祈りのちから」待望のノベライズ本。ストーリーの中で聖句を引用しながら祈りの素晴らしさについて教えてくれます。



「主の前に静まる」
(日本キリスト教団出版局)
片岡伸光 著 1,320 円
この騒がしい世の中で、本当は一番最初にすべき事《静まり》を回復するための必読書。
静けさの中でこそ、人は神に出会い、自分に出会う。滋味豊かなエッセイによって、読者を主の前に静まることへと導きます。



「保育者の祈り
こどものために、こどもとともに」
(日本キリスト教団出版局)
望月麻里 監修 1,320 円
『キリスト教書店大賞 2024』第2位!キリスト教保育の現場のあらゆる立場・あらゆる場面における祈りを収録。`ピーマンにチャレンジ、`園にお泊りします、…「自分の言葉で祈っていい」のだとやさしく誘う祈りの本。



「ABC のおいのり」
(いのちのことば社)
カミーユ・ベルール 絵
1,430 円
A から Z の頭文字にちなんだ英単語とそのことばにちなんだやさしい日本語のお祈りを、かわいい動物たちの絵と一緒にたどります。
お子さんやお孫さんへの春のお祝いにもおすすめです。



「こころのごはん 366日の祈り」
(いのちのことば社)
宮葉子 著 1,870 円
毎日のごはんのごとく、聖書のことばと祈りのことばがつづられていきます。神さまの姿と自分の思いを新発見・再発見。今までことばにあらわせなかった思い、伝えなかった神さまへの感謝がこの本で見つかる。



『こころのごはん
～日々をささえる聖書のことば 30』
1,320 円 (いのちのことば社) <左>
『こころのよごはん
～眠れぬ夜の詩篇』
1,320 円 (いのちのことば社) <右>

開店6周年記念イベント

宮葉子さんのトークイベント開催決定!

2025 年 6 月 14 日 [土]

ご紹介した『こころのごはん 366 日の祈り』の著者、宮葉子さんをゲストにお迎えして、「祈り」をテーマにしたトークイベントを開催します。

「祈り」についての質問・日ごろを思っていることを皆さんからもお寄せいただき、宮葉子さんにみことばとエピソードを交えてお話を伺います。会場・時間帯など、くわしくは、また追ってお知らせします!

特集2 「ブックレビュー」のすすめ



本のレビューを書きましょう。「文書伝道」とは良い本を作ること、提供すること、そしてそれを広めることです。その中で私たちにとって最も簡単にできるのは広めること。つまり良書に出会ったならレビューを書いて他の方にも読んでもらえるよう紹介することです。

では、レビューとはどう書けば良いのでしょうか。ポイントは二つあると考えています。①出版社の書籍紹介のようにせず、読者視点で書く。②クリスチャンにこそ読んでほしい本なのか、ノンクリスチャンにも読んでほしい本なのか見極める。この二つです。

①のポイントは、素直に自分の感想を書くということ。読み終わった後どんな思いになったか、どこが自分の心

に刺さったのかなどを飾らずに書くということです。読んで満たされた自分の言

葉で書く文章は不思議と人の心に響くものです。

ポイント②、ノンクリスチャンにも読んでほしい場合は、教会で当たり前のように使っている用語や表現を控えたほうが良いでしょう。「聖書も教会も、神もキリストも聖霊も知らない人」にこの本を読んでもらうためにはどう紹介すればいいか考えるのです。

ちょっと大変かもしれませんがね。でも、それを考える時間こそ伝道する者に与えられる恵みの時間ではないでしょうか。

(次号へつづく!)



高井 透 (有)ベル・プランニング代表。ライター、出版アドバイザー。「Yahoo ニュースエキスパート」で前橋専属のWEBライターとしても活躍中！高崎バプテスト教会員。

前橋HBCの通販サイト「Little Bird」をご利用ください



前橋ハレルヤブックセンター Little Bird

高井さんの「ブックレビューのすすめ」、いかがでしたか。前橋HBC 通販サイト「Little Bird」では、皆さんからのブックレビューを掲載できるよう準備中です。サイトをのぞいて、読みたい本、読んだ本をチェックして、皆さんのレビューで文書伝道にぜひご参加ください。

◆時間や距離の都合で店頭に行くことがむずかしい……

◆営業時間外にも注文したい…… そんな方におすすめです！どこにいても、好きな時に、商品をご覧いただき、注文いただけます。通販サイトで注文して、店頭受取いただくことも可能です。ぜひご利用ください。



通販サイトへの
QRコード

今年のイースターは、
4月20日【日】
です！

イースター関連商品、多数そろえております。大量注文はどうぞお早めに！卒園・卒業・進級祝のプレゼントもぜひ当店で。



『前橋HBC 支援友の会』総会開催&能登へボランティア派遣！

去る1月18日に『支援友の会』が発足して初めての総会が開かれました。これまでの活動の振り返り、2025年度へ向けての活動がスタートしました。

書店をステーションとして地域の教会やメンバーが協力し合えることを実感する中で、支援友の会では災害支援会『能登ヘルプ』が募集する仮設住宅イベントに『着物リメイク講座』を企画応募し、2月19日～21日にボランティアを派遣することになりました。報告はまた次号！



vol.13 おすすめの本、 教えてください。

「ロゴセラピーと物語」——

フランクフルが教える＜意味の人間学＞



(いのちのことは社) 1,760 円税込

勝田芽生 著

昨年、一番心に残った本をご紹介します。

ロゴセラピーとは、「ナチスによる強制収容所体験記『夜と霧』の著者として知られるヴィクトール・フランクフルが創始した人生の意味を見つけるための心理療法」のことです。

作者の勝田芽生さんは、読者が「ロゴセラピーを知って良かった、それによって自分の人生にも意味があるということを理解できるようになった（あとがきより抜粋）」と思えるように、心を砕いてくださいました。丁寧で、わかりやすい解説文と、その解説にまつわるとえ話や昔話。この二段構成が実に効果的な役割を果たしています。

本書に登場したたとえ話や昔話は、私の心の奥深くに入り込み、勝田芽生先生の解説文と共に、キラキラと輝いています。そして、「人生には、一人一人に与えられたミッション（使命）がある」、「山あり谷ありの人生にも、必ず意味がある」ことを教えてくれるのです。

一見、難解に思えるロゴセラピーの世界を案内してくれた本書に出会うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。 前橋 HBC 支援友の会会員

アンテオケ・ゴスペル・チャーチ 田村 愛子



古書の献品

受け付けています

※キリスト教書や CD, DVD の献品・献品を受付けています。
※買取りではございませんので、ご了承ください。

支援委員会から ご協力をお願い

このニュースレターは、前橋ハレルヤブックセンター支援委員会への献金で発行されております。今後の継続に向けて、皆さまからのご支援・ご寄付をよろしくお願いいたします。また、支援委員会に加入して下さる教会・施設・企業等も引き続き募集しております。ぜひご協力ください。

口座名	前橋ハレルヤブックセンター支援
振込先	高崎信用金庫 前橋支店 (普通) 2226929

春から定期購読はじめてみませんか

定期雑誌をはじめ、CS 教材、ディボーションテキストなど、年間購読のお申込み承っております。

申し込んでおけば、毎月安心、毎月届く。

新年度 4 月号からはじめたい方は……

「3 月 15 日までに」 お申込みください！



＜編集後記＞ 本誌 P2、祈りの書籍紹介で「こっそりミ いるのは我が家にいる「お祈りひつじぬいぐるみ しーちゃん」(商品名)です。ぶんでんリレーが来たとき、小4の息子が見つけておこずかいをはたいて購入。祈りの時にふかふかの「しーちゃん」を抱っこしたら、神様と交わる五感を豊かにしてくれるかもと、息子にレンタル予約を入れました。(S.Y)



前橋ハレルヤブックセンター

〒371-0016 群馬県前橋市城東町 2 丁目 5-3

TEL 027-212-8505 FAX 8508



営業時間 11:00 ~ 17:00

休業日：水曜・日曜・祝日

